

成田空港活用協議会  
平成 25 年度 事業報告  
(資料編)

(1) プロモーション事業

ア. 国内線就航先向けプロモーション

## 国内線就航先（札幌）プロモーション事業

北海道民に「ちばの観光」・「成田空港の利便性」の魅力をPRしていくため、成田空港国内線就航先の札幌にて、北海道経済・観光団体等の意見交換会（平成25年10月25日（金））及び道民向けPRイベント（同年10月26日（土））を開催した。また、新たな旅行商品の造成に向けて、北海道から旅行事業者等を招へいし、観光・ゴルフ・教育旅行をテーマとした県内モニターツアーを平成26年3月6日（木）～7日（金）に実施した。



千葉県側



北海道側

[展開]

○札幌でのプロモーション（平成25年10月25日～26日）

(1) 意見交換会

- 観光だけでなく、スポーツ、文化、産業など様々な分野において北海道と千葉県双方の官民が連携した交流を深めるため、プレゼンテーション、意見交換会、交流会を開催。今後、北海道側と相互交流に向けた取り組みを推進。

《出席者》

■千葉県側 40名

石井会長（県商工会議所連合会長）

諸橋副知事（※森田知事台風対応のため代理出席）

他 活用協議会幹事団体及び会員企業

■北海道側 30名

高向 巖（北海道商工会議所連合会頭）

近藤龍夫（北海道経済連合会長）

北山憲武（北海道観光振興機構専務理事）

山本邦彦（北海道空港(株)代表取締役社長）

他 北海道経済団体、旅行事業者及び道庁関係者

《北海道側からの主な意見等》

- 相互の連携、情報交換、共同プロモーションなどお互いに助け合う方向で  
ご尽力いただきたい。北海道と成田空港の関係は非常に重要で、ここに北海道  
の活性化がかかっている。
- 成田空港の国内線を利用したゴルフツアーや修学旅行といった相互の交流が可  
能ではないか。

(2) 道民向けPRイベント

- “あったか千葉へは、成田空港から！”をキャッチフレーズに、本県出身のタレ  
ント渡辺正行さんら著名人によるステージイベントや、協議会会員のブース出展  
により「ちばの観光」と「成田空港の利便性」の魅力をPR。(来場者 1,500名)
- イベントの事前告知として、人気情報誌サイトなどでのWEB告知や札幌市内の  
地下鉄での交通広告、地元テレビ局へのPRキャラバン隊の出演などを実施。



会場の様子



ステージイベント



出展ブース①



出展ブース②



地下鉄車内に掲示された交通広告

○ 県内でのモニターツアー（平成 26 年 3 月 6 日～7 日）

- 北海道から旅行事業者 13 社を招へいし、2 日間で「観光・ゴルフ」及び「教育旅行」をテーマとした 2 コースにより県内を視察し、千葉の魅力を P R。
- 併せて、県内観光施設・宿泊事業者等 32 社との商談会を実施し、今後のツアー造成につなげていく。

● 行程：

(3 月 6 日) 成田空港～成田山新勝寺～商談会・交流会

(3 月 7 日)

観光・ゴルフ：随縁 C C ・館山 C C ～房総フラワーライン～道の駅とみうら  
枇杷倶楽部～酒々井プレミアム・アウトレット～成田空港

教育旅行：加曾利貝塚～千葉都市モノレール車庫見学・乗車体験～イオンモ  
ール幕張新都心～東京湾アクアライン（海ほたる）～羽田空港



商談会の様子



交流会の様子



道の駅とみうら枇杷倶楽部の見学



モノレール車庫の見学

## [会員の参画] 43 団体

イオン(株)、(株)かずさアカデミアパーク、京成電鉄(株)、京成バス(株)、(株)JTBコーポレートセールス、ジェットスター・ジャパン(株)、芝山鉄道(株)、全日本空輸(株)成田空港支店、(株)ちばぎん総合研究所、(公社)千葉県観光物産協会、(一社)千葉県経営者協会、千葉県経済同友会、千葉県ゴルフ協会、千葉県酒造組合、(一社)千葉県商工会議所連合会、千葉県商工会連合会、(一社)千葉県タクシー協会、(一社)千葉県バス協会、千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合、千葉県レンタカー協会、千葉交通(株)、(公財)ちば国際コンベンションビューロー、千葉テレビ放送(株)、東京空港交通(株)、成田空港交通(株)、成田空港レンタカー協議会、成田国際空港(株)、大本山成田山新勝寺、成田地区ホテル業協会、日東交通(株)、日本航空(株)、ビー・トランセホールディングス(株)、東日本旅客鉄道(株)千葉支社、(株)マザー牧場、三菱地所・サイモン(株)、(株)メディアポート成田、米屋、千葉県、千葉市、成田市、南房総市(南房総観光連盟)、香取市(北総観光連盟)、芝山町(九十九里観光連盟)

## [メディアへの露出]

- 新聞 時事通信(10月25日)  
共同通信(10月25日)  
千葉日報(10月26日)  
北海道新聞(10月26日)  
日本経済新聞(10月26日)  
※その他、業界紙にも多数掲載有り。  
読売新聞(3月7日)
- テレビ 北海道テレビ(10月26日)  
千葉テレビ(10月28日)

## [総括]

- 札幌におけるプロモーションは協議会の設立初年度の主要事業として実施。
- 協議会の特色である「経済活性化」という視点も反映させ、北海道の主な経済団体のトップの参加のもと、千葉と北海道との間で「意見交換会」を開催できたことは大きな成果であった。
- イベント会場では、普段、なかなか同じ立場でPRすることが難しい事業者同士が連携して「ちばの観光」や「成田空港のアクセス・利便性の向上」について、PRできたことは、協議会の特色といえる。
- 一方で、会場設定、ブース展開その他、PRイベントにおいては、事務局としての十分なコントロール機能が発揮できない点もあった。
- イベントの周知や千葉の観光等のPRに関して、現地マスメディアへのアプローチについて更なる工夫が必要である。
- 道側からの相互交流の提案を今後につなげていくことが重要である。

## イ. 海外向けプロモーション

### レンタカーを活用した香港プロモーション事業

個人旅行者が増えつつある香港から旅行会社を招へいし、レンタカーを活用した成田空港発のツアー商品造成を目指すため、国土交通省関東運輸局・神奈川県と連携しながら、県内観光施設等を紹介するモニターツアーを平成26年2月17日（月）～19日（水）に実施した。

※本事業は、国の「平成25年度ビジット・ジャパン地方連携事業」として実施



歓迎レセプション（2月17日）



商談会（2月18日）



商業施設見学（2月19日）



レンタカーデモ

#### [展開]

- 本事業は、滞在日数の比較的長い外国人個人旅行者のニーズに即した誘客を実現するため、成田空港やアクアライン等のインフラ基盤を活かし、千葉県と神奈川県との広域連携プロモーション活動の一環として実施。
- 千葉の食、ショッピング、観光施設、体験プログラムなどを組み合わせ、個人の自由な旅行でしか楽しむことができない個人旅行者向けドライブコースを作成し、香港の旅行会社にコースの取材、体験をしてもらうことで旅行商品の造成を目指して実施。（香港側招へい社：7社）

【2月17日（月）】 15:00  18:00	成田空港着 外国人観光案内所・レンタカーデスク案内 成田山新勝寺・成田山公園（見学） ウェルカムレセプション[マロウドインターナショナルホテル成田]
【2月18日（火）】 10:30  13:30 15:30 18:00	鴨川シーワールド（見学） 昼食（鴨川市の地元の食材を使用した「おらが丼」） マザー牧場（いちご狩り体験） 商談会 [龍宮城スパ/ホテル三日月] 意見交換会・交流会
【2月19日（水）】 10:00	三井アウトレットパーク木更津 香港招へい者のレンタカー運転体験：アウトレット～海ほたる（見学・昼食） ※神奈川県側へ移動

#### [会員等の参画] 22 団体

(株)グランビスタホテル&リゾート（鴨川シーワールド）、京成電鉄(株)、(公財)航空科学博物館、(公社)千葉県観光物産協会、千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合、千葉県レンタカー協会、千葉テレビ放送(株)、(株)トヨタレンタリース新千葉、(株)トヨタレンタリース千葉、成田空港レンタカー協議会、成田国際空港(株)、大本山成田山新勝寺、成田地区ホテル業協会、(株)マザー牧場、三井不動産(株)、三菱地所・サイモン(株)、(株)メディアポート成田、千葉県、木更津市、成田市、鴨川市、千葉インバウンド促進協議会

#### [メディアへの露出]

□テレビ 千葉テレビ放送（2月17日）

※旅行系業界紙にも記事掲載有り。

#### [総括]

- 今回、ファミリー層向けの施設等を組み込んだコースを体験いただいたところ、招へい旅行者のアンケートでは、観光資源として好評であった。
- 香港からの訪日客は、リピーター率及び個人旅行の割合が高い傾向にある中で、着実に旅行商品の造成につなげるためには、継続した取組が重要である。
- レンタカーの使用については、外国人向けのドライブルートマップの充実や、ナビシステムの使い勝手の向上、ETCの対応、チャイルドシート使い方の説明が必要である旨の意見があり、今後の課題となった。

## ウ. ビジネスプロモーション

### 県企業誘致セミナーとの連携事業

平成 25 年 10 月 18 日（金）に都内の東海大学学友会館霞が関ビルにて開催された千葉県主催の企業誘致セミナーにおいて、協議会及び会員市町村内に所在する工業団地等のPRを行った。



会員パンフレット



セミナー参加者がパンフをみている様子

#### [展開]

- セミナーの一面にテーブルスペースを設け、会員市町 8 団体の工業団地、会員企業 5 社の PR を協議会にて実施。(セミナー参加者は製造業を中心に 185 名)

#### [会員の参画] 12 団体

- パンフレット及びノベルティの提供協力  
千葉県（ちばりサーチパーク、千葉富国生命ビル）  
佐倉市（ちばりサーチパーク）  
柏市（サイエンスパーク他市内の工業団地）  
東金市（千葉東テクノグリーンパーク）  
八街市（八街駅北側地区）  
南房総市（千倉・白浜・富浦の各用地）  
酒々井町（酒々井南部地区新産業団地、墨工業団地）  
御宿町（御宿西武グリーンタウン（店舗用地））  
成田国際空港(株)、アイベックスエアラインズ(株)、京成電鉄(株)、芝山鉄道(株)

#### [総括]

- 会員よりパンフレット及びノベルティの提供協力を得てブースを設け、PR 活動を行った。
- 次回以降については企画段階から参画できるようにであれば、検討したい。

## (2) 空港利用促進事業

### ア. 空港利用促進キャンペーン

# ますます 便利になる 成田空港に行ってみよう! スタンプラリーキャンペーン

成田空港の国際線に加え、近年充実している国内線ネットワークや圏央道等の道路網の拡充を含むアクセスの利便性を首都圏の自動車ユーザーに実感してもらうことを目的に、成田空港、Pasar 幕張（下り線）、酒々井プレミアムアウトレット、海ほたるパーキングエリア、三井アウトレットパーク木更津で、平成 26 年 2 月 22 日（土）から 3 月 22 日（土）までの 1 か月間、スタンプラリーを実施した。



Pasar 幕張



酒々井プレミアム・アウトレット



海ほたる PA



三井アウトレットパーク木更津

#### [展開]

- 成田空港の航空ネットワーク・アクセス利便性がわかる PR パネル、会員のパンフ等を施設内に設置し、県内外からの施設来場者への PR を実施。
- 上記施設に設置されたスタンプを 2 箇所以上（空港必須）押印のうえ応募すると、抽選で航空券等が当たるスタンプラリーを展開（600 名超の参加者有り）
- 休日には、マスコットキャラクターによる撮影会や空港駐車場無料券の配布、会員提供ノベルティが当たるイベントを関係会員とともに実施。



マスコットキャラクターとの撮影会



ノベルティが当たるイベント

**[会員参画] 22 団体**

アイベックスエアラインズ(株)、ジェットスター・ジャパン(株)、全日本空輸(株)、日本航空(株)、京成バス(株)、小湊鉄道(株)、千葉県レンタカー協会、千葉交通(株)、(株)千葉交タクシー、日東交通(株)、ビー・トランセホールディングス(株)、東日本高速道路(株)、三井不動産(株)、三菱地所・サイモン(株)、航空科学博物館、千葉テレビ放送(株)、(株)ベイエフエム、成田国際空港(株)、(株)メディアポート成田(株)グリーンポートエージェンシー、千葉県、木更津市

**[メディアへの露出]**

- 各種メディアを多用した事前告知、特設サイトの開設や「成田空港 Walker」(約 1 万 9 千部発行) の発行を行い、幅広い世代への情報提供を図った。
  - 雑誌 東京 Walker 2 月 25 日号 見開き 2 P
  - ラジオ ベイエフエム スポットCM40 本(期間中)、生中継(2 月 22 日)
  - テレビ 千葉テレビ放送(2 月 27 日)
  - 新聞 読売新聞首都圏版(2 月 18 日)  
千葉日報(3 月 4 日、8 日)



キャンペーンポスター



成田空港 Walker



特設サイト

**[総括]**

- 自動車ユーザー向けの本キャンペーンでは、航空利用及び県内観光の途中に立ち寄るパーキングエリアの特性がうまく絡み、そのPR効果は非常に高い。
- 成田空港に近い幕張や酒々井では、スタンプラリー参加者が全体の75%を占め、空港への引き込みが図れた。羽田空港に近い木更津や海ほたるでは協議会発行の情報紙「成田空港 Walker」が300部/日も手に取られるなど、成田空港の航空ネットワークやアクセスの利便性への高い関心が示された。

## イ. 空港内PRイベント



成田空港の利用者に対して、千葉の素材を活かしたスイーツのPRを通じて、食の宝庫である“ちばの魅力”や地域関連情報を発信することを目的に、成田空港第1ターミナル南ウイング4F国際線出発ロビーで、平成26年3月29日(土) 12:00~15:00にスイーツPR・無料試食イベントを実施した。



イベント会場の賑わい



出展ブース



マスコットキャラクター撮影会

### [展開]

- 出展会員10自治体(9市町と県)の特産食材等を使用した24種類のスイーツの試食、ディスプレイコーナーでの地域観光情報の発信などを行い、様々な国籍の出発旅客、近隣地域の方々、空港従業員など1,600人が来場。
- スイーツに加え、観光など地域情報を展示するとともに、出展団体の各マスコットキャラクター13体による“わがまち”PRも展開。空港展望デッキでは、イベント周知のためマスコットキャラクターが大集合。  
※本イベントは、成田、佐倉、八街の3市による事業提案をベースに企画。



マスコットキャラクターによる展望デッキでの呼び込み

[会員参画] 13 団体

銚子市、成田市、佐倉市、旭市、八街市、香取市、酒々井町、栄町、芝山町、横芝光町、千葉県、成田国際空港(株)、(株)メディアポート成田  
 ※その他、上記自治体会員内にある数多くのスイーツメーカーも参加。

[メディアへの露出状況]

- 特設サイトの開設、スイーツ販売情報パンフの製作に加え、PR 効果を高めるため、タウン情報誌（東京 Walker）への掲載や成田空港 Walker での紹介など、空港利用促進キャンペーンと連動した広報を展開。

- 雑誌 東京 Walker 2月25日号 見開き2P
- テレビ 成田ケーブルテレビ、ケーブルネット296
- 新聞 読売新聞千葉県版（3月30日）  
千葉日報（3月31日）



スイーツ詳細プログラム



特設サイト

[総括]

- マスコットキャラクターの人気と相まって、多くの空港利用者に各地域の特産品や地域の魅力を発信することができた。また、出展スイーツの入手先にアクセスできるよう販売店情報を協議会HPに掲載し、販促にも努めた。
- 今回の会場は、時間帯によって空港利用者の波がある国際線出発ロビーであったため、スイーツ数の予測やブースの展開に課題が残った。

### (3) 調査・広報事業

#### ア. 外客受入体制整備セミナー

## 第2回県内経済活性化ビジネスセミナー ～MICEとその魅力(基礎編)～

企業等の会議や研修旅行、国際会議や見本市などのビジネスイベントの総称である“MICE”について、その意義や経済効果を分かりやすく理解していただくために、会員等を対象としたビジネスセミナーを三井ガーデンホテル千葉にて、平成26年2月10日(月)に開催した。



コプチンスキィ氏による基調講演



パネルディスカッション

#### [展開]

- 本セミナーは、成田空港を擁するMICE開催地として、海外のMICE専門家(レイ・コプチンスキィ氏)から見たちばの魅力や、世界のMICE誘致動向に関する基調講演とMICEが大きなビジネスチャンス秘めていることについて誘致推進側、経済効果を楽しむ側、主催者側などそれぞれの立場によるパネルディスカッションの2部構成で実施。
- 併せて、講師、パネリストと会員間の交流促進を図るため、名刺交換会も実施した。

#### 《プログラム》

【基調講演】レイ・コプチンスキィ氏 「MICEの効果・千葉の魅力」

【パネルディスカッション】 「MICEをチャンスに」

コーディネーター 田部井正次郎氏 (城西国際大学講師)

パネリスト 内田 浩行氏 (観光庁 参事官)

葛 丈夫氏 (CCB MICE事業部長)

早川 康一氏 (千葉インバウンド促進協議会 会長)

レイ・コプチンスキィ氏 (MDRT会議サービス部長)

【交流会(名刺交換会)】

[企画・運営協力] 3 団体

ちば国際コンベンションビューロー、千葉インバウンド促進協議会、千葉県

[参加会員等] 72 団体（社）101 名

[メディアへの露出]

□新聞 産経新聞（2月12日）

[総括]

- 当初の応募者数が、160 名を超え、M I C E に対する関心が高いことが、わかった。（雪の影響で、当日の参加者は 101 名）
- 基調講演及びパネルディスカッションにおいて、4 人のパネリストから、それぞれの立場（国・誘致機関・主催者・ホテル）で具体的なお話をいただき、M I C E が会員のより身近にあることが認識でき、参加会員及び傘下の会員が M I C E のイメージを理解できたことは、有意義であった。

## イ. ビジネスセミナー

### 第1回県内経済活性化ビジネスセミナー ～成田空港と圏央道の活用～

近年充実が図られている成田空港国内線の利用動向等に係る調査報告に加え、圏央道を活用した沿線自治体のビジネス支援事例も併せて紹介し、会員自らの事業活動の一助とするためのビジネスセミナーを茂原市役所にて平成26年2月3日（月）に開催した。



挨拶する石井会長



田中茂原市長のご挨拶



ちばぎん総研のプレゼン



茂原市のプレゼン



ジャパンディスプレイのプレゼン

#### [展開]

- 成田空港国内線利用動向等に係る調査の報告に加え、茂原市からの事業提案を取り入れ、成田空港及び圏央道の活用によるビジネス創出をテーマとして、進出企業や自治体の実際の事例紹介を併せて実施。
- 成田空港からバスに乗車し、圏央道の利用を通じて今後の発展可能性を体験するバスツアー、並びに、会員同士の交流促進をはかるための交歓会も開催した。

(平成 26 年 2 月 3 日)

時 間	プログラム
10:00～11:00	成田空港発圏央道利用体験バスツアー
11:30～13:00	ビジネスセミナー 【挨拶】 石井会長、田中茂原市長 【プレゼン第 1 部】《成田空港活用協議会調査事業報告》 『成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者の動向』 （株）ちばぎん総研 小松受託調査部長・関同副部長 【プレゼン第 2 部】《空港と圏央道の活用事例》 ①『圏央道活用による茂原市の取り組み』 茂原市商工観光課 西ヶ谷課長 ②『なぜ茂原市に進出したのか』 （株）ジャパンディスプレイ 引場工場長
13:00～14:00	交歓会



バスツアーで説明する小松経済活性化部会長



交歓会の様子

**[企画・運営協力] 7 団体**

茂原市、千葉テレビ放送(株)、小湊鉄道(株)、(株)ティエフケー、(株)ちばぎん総合研究所、成田国際空港(株)、千葉県

**[企画・運営協力] 70 団体 (社) 113 名**

**[メディアへの露出]**

□新聞 産経新聞 (2 月 4 日、10 日)、千葉日報 (2 月 10 日)

※その他、航空関係業界紙にも多数掲載有り

**[総括]**

- 成田空港と圏央道がもたらす地域経済への効果について、実際に地の利を生かして企業誘致に取り組む側と進出企業側の事例を共有できたことは意義深い。
- 圏央道体験ツアーでは成田空港—松尾横芝間などの未開通区間が今後開通することによる利便性向上を肌で感じることができた。
- 今回のセミナーでは、交換会も含め、事例や実地の体験に基づく Face to Face での人と人とのつながりが、ビジネス・事業を動かしていくことを再認識した。

## ウ. 航空旅客利用動向調査

### 成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査

千葉県内の観光・産業振興に活用する基礎資料とするため、成田空港の国内線の利用動向や国内線を利用した千葉県への来訪状況、成田空港のアクセス利用状況などについてインターネット調査を通じて、平成 25 年 10 月に実施した。

#### [展開]

- 全国 15 歳以上の男女 5,500 人（うち県民 1,100 人）を対象に、インターネットによるウェブ・アンケート調査を平成 25 年 10 月 12 日～13 日の期間で実施。
- 調査結果の分析及び提言等については平成 26 年 2 月 3 日に開催した第 1 回県内経済活性化ビジネスセミナーにて公表。

#### ◆◆◆ 調査結果要旨（一部抜粋） ◆◆◆

##### 《成田空港国内線の利用動向》

- 利用目的は、観光が 8 割、ビジネスが 2 割。成田空港国内線利用者の目的地のトップ 5 は、北海道、沖縄県、海外（乗継）、大阪府、東京都。
- 成田空港国内線の利用満足度は 3 人中 2 人が満足と回答。満足な理由は、「空港と目的地（または自宅）のアクセスが良かった」がトップ。
- 同行者は家族が約 5 割。個人での旅行・観光は「家族」、ビジネスは「1 人」、その他（修学旅行等）は「団体」がそれぞれ 5 割前後と多い。
- 成田空港国内線の未利用者の約 5 割が将来的に利用したいと回答。
- 将来利用する意向のある航空会社は F S A と L C C が 3 割台半ばで拮抗。
- 成田空港国内線に占める L C C 利用者のシェアは 15.0%。
- L C C は「首都圏」と「国内線就航地」の居住者の利用が多い。L C C の利用シェアは、首都圏では、千葉県、国内線就航地では愛媛県が最多。
- 成田空港国内線の未利用者のうち将来的に「とても利用したい」と答えたもののうち、L C C を利用したい意向は約 6 割と最も多い。

##### 《千葉県への来県者動向》

- 千葉県を目的地とした成田空港国内線の利用は約 5 %。
- 宿泊施設や観光施設・名所旧跡、料理・特産品の順に満足度が高い。
- 再訪意向は約 9 割で来訪時の満足度の高さに比例している。イベント・体験や料理・特産品に満足した人の再訪意向が強い。
- 来訪市町村のトップ 5 は、千葉市、浦安市、成田市、船橋市、銚子市。
- 宿泊市町村のトップ 5 は、千葉市、浦安市、成田市、銚子市、船橋市。
- 訪問目的（トップ 3）は「テーマパーク、名所旧跡など観光スポットめぐり」、「友人・知人宅の訪問」、「おいしいものを食べる」。
- 観光客の宿泊を伴う来訪は約 9 割。L C C 利用者の旅程は、「4 日（3 泊 4 日）以上」が約 4 割で最多。

### ◀成田空港までのアクセス（２次交通）の利用状況▶

- 成田空港までのアクセス（２次交通）はＪＲと京成が３割前後で拮抗している。
- ２次交通の満足度は、「満足」が約６割、「どちらでもない」が約３割、「不満」は１割未満となっている。
- 北関東在住者（群馬県・栃木県・茨城県）の満足度が７～８割と高い。１都３県（千葉県・東京都・神奈川県・埼玉県）の満足度は、「千葉県（63.1%）」と「東京都（34.6%）」で開きがみられる。
- 圏央道の認知度は約５割、東京湾アクアラインの認知度は約７割。圏央道及び東京湾アクアラインを認知している人の方が利用度合は多い。
- 格安バスの認知度は約３割で、利用割合は５.５％となっている。格安バスを将来的に利用したい意向は約８割。

### [メディアへの露出]

- 新聞 時事通信（２月３日）、産経新聞（２月４日）、日経新聞（２月４日）  
千葉日報（２月６日）、読売新聞（２月８日）  
千葉日報（２月１０日）、東京新聞（３月２５日）  
※その他、航空関係業界紙にも多数掲載有り

### [総括]

- 本調査結果は、国内線就航先プロモーションや空港利用促進キャンペーンなど今後の協議会事業の検討過程において参考資料となるだけでなく、観光や産業など会員の事業展開・ビジネス展開の基礎となるデータとして有効に活用できるものと期待される。
- 近年、ＬＣＣの就航などで成田空港の国内線が急速に拡大している中で、国内線の認知度が決して高いとは言えない状況がある一方で、国内線未利用者の将来的な利用意向が非常に高いといったデータから、大きな潜在需要があると思われる。協議会としては、こうした潜在需要の取り込むため、今後、積極的なプロモーション活動等に取り組み、さらなる航空利用者増を目指していく必要があると考える。

#### (4) 要望活動

### 首都圏中央連絡自動車道建設促進に関する要望について

発着容量30万回化で高まる成田空港のポテンシャルを県全体に波及させるためには、交通網の整備が極めて重要であることから、その基幹インフラとなる首都圏中央連絡自動車道の県内未開通区間の早期整備等について、県内関係3団体とともに平成25年11月22日（金）に国に対して要望活動を実施した。



要望活動の様子

#### [展開]

- 本協議会会長を要望者として、県内関係3団体（首都圏中央連絡自動車道促進期成同盟会、千葉県議会首都圏中央連絡自動車道推進議員連盟、首都圏中央連絡自動車道建設促進県民会議）とともに、国に対して要望活動を実施。

#### 《要望内容》

- 一日も早い全線開通を図ること。
  - ・ 開通目標が平成25年度の茨城県稲敷から神崎間、平成26年度の神崎から大栄間について、着実に事業を進めること。
  - ・ 大栄から横芝間について、早期に用地取得に着手し、事業を進めること。
- 圏央道をはじめ、必要な道路整備予算の総額を十分に確保すること。

#### 《要望先》

太田国土交通大臣、野上国土交通副大臣、中原国土交通政務官、  
国土交通事務次官、国土交通省道路局長ほか国土交通省幹部職員  
県選出国會議員

#### [メディアへの露出]

□新聞 千葉日報（11月23日）

## (5) 平成 25 年度における会員からの提案事業

- 空港を活用した事業展開についてのアイデアを募り、会員の連携・協働による事業展開をサポートすることで、これまで企業・団体単独では取り組むことが困難であった事業等を事業化につなげることを目的として募集した。

《募集期間》 平成 25 年 9 月 9 日（月）～10 月 4 日（金）（12 月末まで延長）

《提案事業の状況》

○具体的事業の提案件数 総数 42 件（提案会員数 18）

① 空港内 P R イベント	4 件
② 空港利用促進・観光キャンペーン	9 件
③ 県内誘客・周遊ツアー	10 件
④ 地域振興（産業、農産品、工芸品等の P R を含む）	5 件
⑤ 交流イベント（スポーツ、地域間等）	4 件
⑥ 教育関連	3 件
⑦ その他	7 件

○自由意見件数 総数 16 件（提案会員数 12）

《提案事業の取扱方針》

- ① 提案事業のアイデア等を協議会事業に積極的に取り込んでいく。
- ② 提案会員の了承を前提として、具体的な事業提案の概要を協議会のホームページの会員専用ページに掲載するなどし、会員同士のビジネスマッチングや連携・協働の取組を促進する。

## (6) 広報活動

- 設立総会や運営説明会、各種事業の実施にあたっては、県政記者会をはじめとする関係記者クラブ等に対し積極的にプレスリリースを実施するとともに、協議会ホームページやツイッターを活用した会員への情報提供、新聞、テレビ、ラジオなど報道関係者への情報提供を行った。
- また、協議会の認知度向上のため、各種メディアへの広告等の掲載のほか、情報誌、協議会パンフレット・ポスター・ノベルティ等を作成し、プロモーションやセミナー等において配布した。

《プレスリリース実績》

（平成 25 年）

- 7 月 31 日 「成田空港活用協議会設立総会の開催結果」
- 9 月 4 日 「成田空港活用協議会運営説明会の開催」
- 10 月 15 日 「国内線就航先（札幌）プロモーションの実施」
- 10 月 31 日 「国内線就航先（札幌）プロモーション実施結果」
- 11 月 22 日 「首都圏中央連絡自動車道の建設促進に関する要望活動の実施」

(平成 26 年)

- 1 月 27 日 「県内経済活性化ビジネスセミナー 2 週連続開催！！」
- 2 月 3 日 「成田空港国内線の利用状況と国内線を利用する来県者動向に係る調査の実施」
- 2 月 13 日 「レンタカーを活用した香港プロモーション事業の実施」
- 2 月 17 日 「ますます便利になる成田空港に行ってみよう！スタンプラリーキャンペーン」
- 3 月 4 日 「国内線就航先（札幌）プロモーション第 2 弾の実施」
- 3 月 24 日 「Chiba Sweets Collection in Narita Airport～ちばの恵みのスイーツがいっぱい～」

《広告等掲載実績》

(平成 25 年)

11 月 1 日 ちばぎん総研会員向け情報誌（協議会の紹介）

(平成 26 年)

- 2 月 14 日～3 月 22 日 ベイエフエム（利用促進キャンペーン告知）
- 2 月 18 日 読売新聞（利用促進キャンペーン告知）
- 2 月 25 日 東京 Walker（利用促進キャンペーン告知）
- 2 月 27 日 千葉テレビ放送（利用促進キャンペーン告知）
- 2 月 28 日 日刊工業新聞（協議会の紹介）
- 3 月 4 日、3 月 8 日 千葉日報（協議会の紹介、国内線ネットワーク等）

《PR 媒体等の制作》

- 協議会パンフレット 1,000 部
- 協議会ポスター 500 部
- 利用促進キャンペーンポスター 100 部
- 空港内 PR イベント来場者用チラシ 1,000 部
- 成田空港 Walker 20,000 部
- イベント・キャンペーン配布用ノベルティ（付箋付きマーカー）3,000 個



パンフ、ポスター



空港内 PR イベントチラシ



協議会ノベルティ